

2021年2月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>
発行:安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



新たな集出荷施設の外観（上）
花きの集荷設備（左下）、レタスの真空予冷処理（右下）

JA 安房神戸支店

集出荷施設が稼働を開始しました

JA 安房は令和元年から神戸支店の集出荷施設の再整備を行い、令和3年1月に完成しました。

従来、神戸及び西岬では3か所の施設で野菜又は花きの集出荷が行われてきました。今回の再整備により野菜及び花きの一元集出荷が可能になりました。

集出荷施設の稼働に伴い、野菜ではレタスの品質向上による販売強化やブロッコリーの共選共販体制の構築、花きでは神戸と西岬の集約出荷体制による物流の効率化、販売強化など新たな取組により、野菜・花き産地が活気を帯びています。

今後も集出荷施設を核とした野菜、花き産地の活性化による更なる発展が期待されます。

モロヘイヤの栽培について

モロヘイヤは、軽量であり、収穫等の作業負担が小さく栽培しやすい作物です。高温環境に強いいため、暑い時期に空いた畑があれば、モロヘイヤを栽培してみませんか。

128穴セルトレイに1穴につき2〜3粒ずつ種子をまき、発芽後、1本に間引きします。発芽まではハウス内の温床で25〜30℃を目安に温度を管理します。発芽後は20℃以下にならないようにします。

本葉5枚で、日平均気温15℃以上になったらかん水可能なほ場へ定植します。マルチを張った畝に株間45cm、条間50cm2条で植え付けます。

定植後は、コガネムシ類やアザミウマ類の食害を受けやすいため、薬剤防除をします。草丈が50〜60cm位になったら、主枝を20cm程度残して摘心します。25cm程度伸びた側枝を

1〜2芽残して収穫します。収穫後は、品質が低下しやすいため、速やかに予冷して出荷します。

なお、モロヘイヤの種子には毒性の強い成分が含まれますので、着花防止のために早まきや早植えを避け、8月下旬以降は収穫を控えましょう。

月	4			5			6			7			8		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作付期間	○			△			□								
作業	は種			定植			収穫								

モロヘイヤの作型（露地）

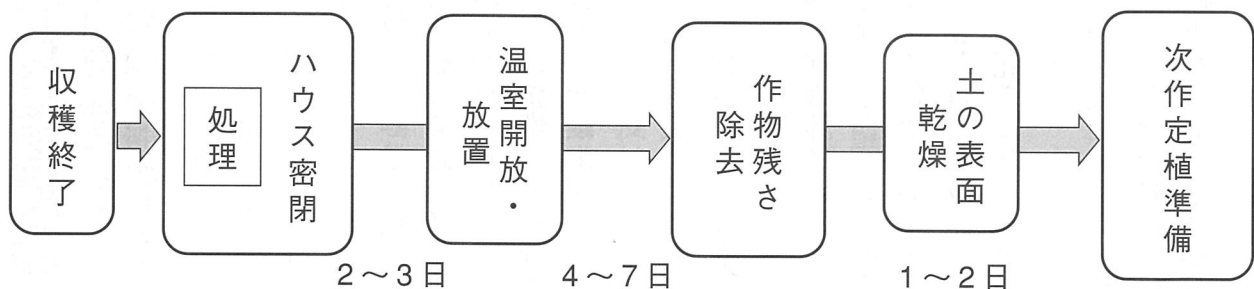
花き残さ処理の負担軽減技術

収穫後に残った株を抜くのが大変、夏は作業時間を短くしたいという方に、カーバムナトリウム塩液剤（商品名…キルパー）を利用した残さ処理方法を御紹介します。

園芸施設を密閉した後、かん水チューブを用いてキルパー希釈液を処理し、枯れるまで密閉した後に開放します。作物が根まで枯れ、楽に抜けます。また、残さが軽くなります。施設外への持ち出しが楽になります。作業効率が上がるため、残さの抜き取りや持ち出しにかかる時間を短縮できます。

キルパーを使用する際は、ラベルに表示された使用基準や注意事項をよく読みましょう。詳細は農業事務所改良普及課にお問い合わせください。

（外気温25℃以上の場合）



カーバムナトリウム塩液剤（商品名：キルパー）を利用した残さ処理

暑熱対策のすすめ

屋根の話

家畜に対する暑熱の影響は大きく、日陰樹の植樹や屋根への石灰塗布、断熱材の設置など以前から様々な対策が行われています。

近年、畜産業界で導入されている遮熱塗料の屋根への施工について、令和元年に行った調査結果を御紹介します。

遮熱塗料の施工前は屋根裏面の温度が50℃を超える真夏日も、施工後は37℃前後までにしか上昇せず、高い遮熱効果が確認されました。また、暑熱期の乳量は牛群検定農家の平均に比べて0.5kg/日・頭多く、7～9月の合計で1頭当たり収入が約5千円上がると試算できます。

遮熱塗料は、散水に比べて湿度上昇を抑えられ、断熱材に比べて日没後の室温低下が早いメリットがあります。

遮熱塗料の施工費用は、40



遮熱塗料施工中の牛舎屋根

頭牛舎で約150万円です。10年は効果が持続するとされています。条件によっては補助事業の活用が可能ですので、屋根の暑さが気になる方は御検討ください。

また、既存の技術である石灰塗布（推奨・ドロマイト石灰）でも、相応の効果があることが確認されています。安価に施工できますが、毎年施工が必要です。

暑熱期には、複合的な対策が求められます。夏まであと4か月、早めに準備しましょう。

令和2年文化の日

千葉県功労者表彰受彰

千葉県では、文化の日に、各方面で顕著な功績を挙げ、県の発展に多大な貢献をされた方々を表彰しています。

令和2年11月3日、「令和2年文化の日千葉県功労者表彰」が行われ、館山市の黒川幹氏、脇田安保氏の2名が農林水産功労を受彰されました。

黒川氏は、平成5年に世界初のスプレー咲きのストックを発表するなど品種開発を通じて、ストック産出額が全国1位である本県の花き生産振興に貢献されました。

脇田氏は、平成10年に館山市農業委員に就任され、平成26年からは会長として担い手の育成・確保や耕作放棄地の解消など地域農業の振興に貢献されました。

安房農業賞
安房農業奨励賞

受賞者の紹介

安房農林振興協議会では、毎年安房郡市内の農林業に功労のあった方々を表彰しています。表彰者は、農林業の生産性の向上や地域農林業の振興に貢献した方々を市町長が推薦し、審査を経て決定しています。

令和2年12月2日、鋸南町中央公民館で「令和2年度安房農業賞表彰式」が行われ、7名の方が表彰されました。

「安房農業賞」

小宮 耕一氏（館山市）
長谷川清一氏（鴨川市）
小川 貞夫氏（南房総市）

「安房農業奨励賞」

穂積 優子氏（南房総市）
石井 俊輔氏（南房総市）
池田 美香氏（南房総市）
鈴木 直人氏（安房郡鋸南町）

食品営業の許可制度の変更と届出制度の創設

平成30年6月に食品衛生法が改正され、①食品営業許可制度の見直しや②食品営業届出制度の創設などの変更がありました(令和3年6月1日施行)。漬物やジャム、餅など、これまで営業許可が不要であった業種でも、営業許可又は届出が必要になります。

①「漬物製造業」など、新規に営業許可が必要となる業種があります。②営業許可業種に該当しないすべての営業者は、保健所に届出が必要となります(届出対象外5業種及び採取業等を除く)。

また、営業許可・届出の対象事業者は、「HACCP(ハザップ)に沿った衛生管理」の実施が義務となります。

制度の詳細は、保健所(安房保健所及び鴨川地域保健センター)に御相談ください。

認証された

指導農業者 紹介

地域の農業後継者の育成に取り組み指導的農業者を指導農業者、また、地域農業をけん引する青年農業者を農業者として、知事が認証しています。

令和2年度は新たに、指導農業者に2名、農業者に1名の方が認証されましたので御紹介します。

指導農業者

軽込 晃氏 (南房総市)



カーネーションに、ぶどうや高糖度トマトなどの単価が高い品目を

を組み合わせた集約的な農業経営を行っています。南房総市の新規就農支援事業の研修機関として認定されており、農業後継者の育成に情熱を注いでいます。

須藤陽子氏 (館山市)



自給飼料の利用や放牧を取り入れた高品質な牛乳生産と、これを

活用した加工品製造、牧場体験を含めた、多様な酪農経営を行っています。女性団体や食育活動を通して、酪農業と社会の相互理解の促進に向けて活躍されています。

農業者

鈴木章嗣氏 (館山市)



セルリーなどの施設野菜と野菜苗生産を主体に経営しています。

主力である苗物は、消費者のニーズに合わせて、数十種類の高品質な苗を供給しています。地域をけん引する貴重な担い手として今後の更なる活躍が期待されます。

令和3年度

農業経営体育成セミナー 新規受講者募集

このセミナーは安房地域で新規に就農された、おおよね45歳までの若手農業者を対象としています。

毎月1〜2回程度の講義や実習、視察研修等により、農業経営に関する知識や技術について3年間かけて段階的に学ぶカリキュラムです。

令和2年度は、24名の方が受講しています。

5月下旬頃の開講に向けて、やる気のある令和3年度新規受講者を募集しています。農業に取り組み同世代の仲間と交流しながら、楽しく学んでみませんか。

お問合せ・申込みは農業事務所改良普及課まで御連絡ください。

また、お近くの若手農業者の方にも是非受講を勧めてください。